

教材教具名	「マスクをつける」カード	分類	その他
		授業名	個別課題 (小学部)
ねらい	・ 個別課題に取り組むときに、マスクをつけることができる。		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・ カードをワークシステムにはる。

<材料>

- ・ ラミネート

<工夫点>

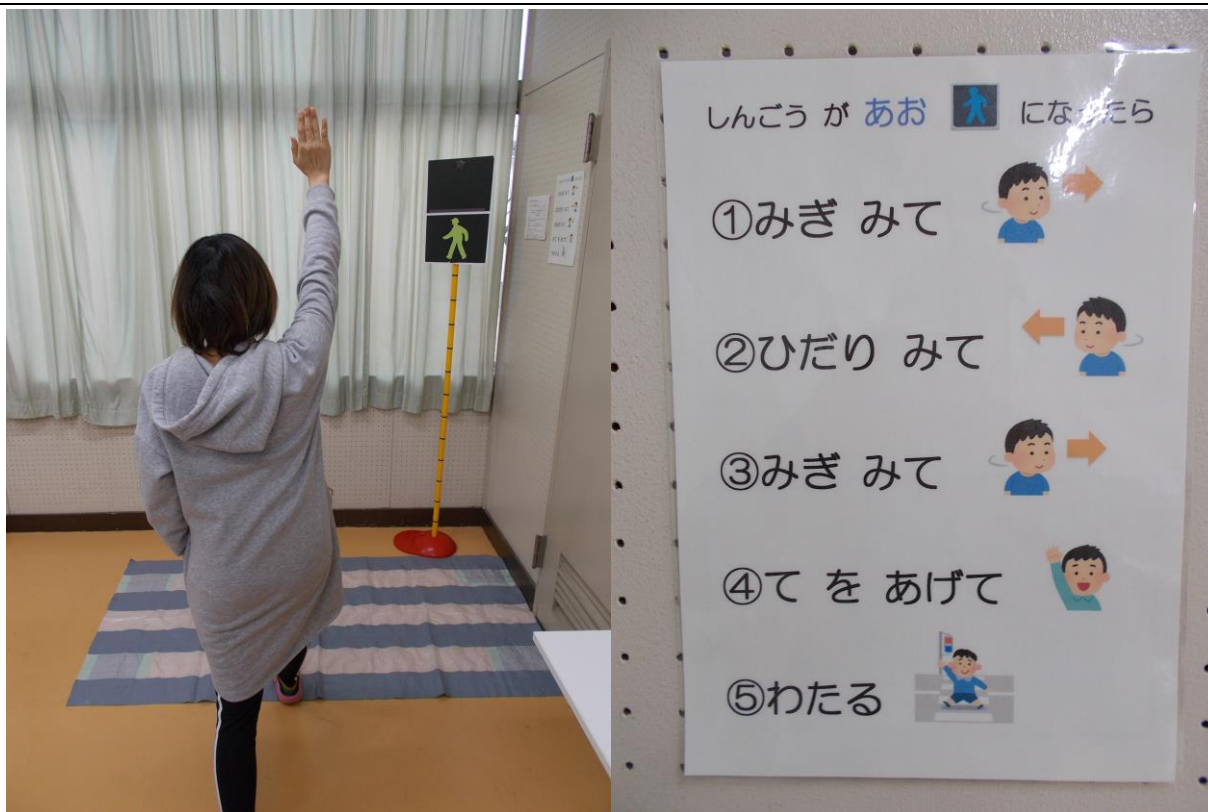
- ・ カードを指差すことで、マスクをつけるという指示が伝わるような絵にしたこと。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・ 個別課題を始める前に、確実にマスクをつけるようになった。

教材教員名	歩行者信号機を渡ろう (横断歩道と歩行者信号機)	分類	授業
		授業名	社会 ( 中学部 )
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>これらの教材を使い、歩行者信号機を渡る練習(疑似体験)を繰り返し行うことで、実際の信号機でも安全且つスムーズに渡れるようになる。</li> </ul>		

教材教具の概要



<使用方法>

- 横断歩道マットを床に敷き(必要に応じてテープ等で床に貼り付ける)、信号機は台座を付けた棒に装着し、赤信号と青信号を手動で操作する。

<材料>

- 横断歩道マット … レジャーシート、ビニールテープ(銀色)、滑り止めシート
- 歩行者信号機 … 厚紙(白、黒)、色画用紙(赤、緑)、テープ、磁石、トイレトペーパーの芯、ヒモ

<工夫点>

- 赤と青の切り替え部分に磁石を付けて使いやすくした。  
(白色が入ったストライプ柄のレジャーシートを選び、そのまま白を活かしたこと。(コスト削減))

<使ってみてよかったところ、効果等>

- 赤と青の切り替えが分かりやすいため、生徒の注目度が高かった。
- 横断歩道マットに関しては、見た目やサイズ感は良かったものの、床から浮きやすく、テープでの固定が必要であったため、安全面や準備の面で課題が残る。

教材教員名	コメントうちわ	分類	授業
		授業名	美術 (高等部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の作品や友だちの作品を観て感じた印象を発表する。</li> </ul>		

教材教具の概要



<使用方法>

- イラストや文字を見て、自分が伝えたい言葉のうちわを上げる。

<材料>

- 大型うちわ、紙 (コメント、イラスト)

<工夫点>

- 生徒たちがイメージしやすい言葉や覚えてほしい言葉を選んだ。
- 誰が見てもわかりやすい表情のイラストを使った。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- 気持ちを言語化することや発表が苦手な生徒も、うちわをあげることで意思表示できた。
- うちわの上げ方 (迷いながら上げる、見せつけるように高く上げる など) によっても、生徒の思いが見えた気がする。

教材教員名	バスケットボール (オリエンテーション、 活動の流れ、話し合い)	分類	授業
		授業名	体育 (高等部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを使いバスケットボールのことについてクイズ形式で学ぶことができる。</li> <li>ICTを使い視覚的に授業の流れについて知ることができる。</li> <li>iPadを使い話し合いをすることによって、自ら目標や練習内容を考えることができる。</li> </ul>		

教材教具の概要



<使用方法>

○オリエンテーション

- クイズ形式のようにしてバスケットボールの歴史やルールについて学ぶ。

○活動の流れ

- 初めに授業の流れを説明するときに使う。また、それぞれの活動内容を説明するときに使用する。

○話し合い

- 話し合いの時間をとり、キャプテンを決め、キャプテンが話し合いを進めるときに使用する。
- 目標を決めた後、練習を決め、その後練習内容の動画を見て、スムーズに練習に取り組む。

<材料>

- iPad (Keynote)

<工夫点>

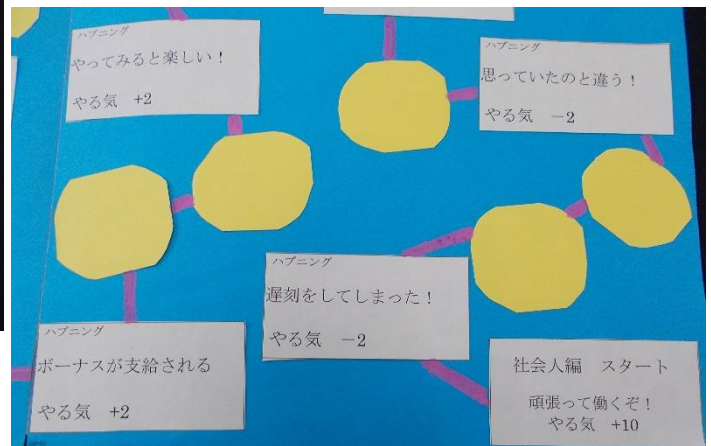
- ICTを利用しクイズ形式にすることで楽しみながら学ぶことができる。
- 視覚的に流れを伝えることで何をするのかわかりやすくした。
- わかりやすいように目標や練習を色で分けたところ。
- タッチすると次の目標や練習、動画などにとびることができる。また、戻るボタンをつけることで選りなおすこともでき、生徒たちで進められる。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- 言葉だけでバスケットボールの歴史やルールを伝えてもなかなか伝わらないところが、ICTを利用し視覚的に示すことで、理解がしやすくなった。またクイズ形式にすることで、興味を持たせることができ、参加者全員が楽しみながら学ぶことができていた。そして、授業後も学んだことを話してくれるほど定着していた。
- iPadを使い話し合いをすることによって生徒たち自身で進めることができた。
- 目標を決めた後、練習を決め、その後練習内容の動画を見て、スムーズに練習に取り組むことができた。

教材教員名	進路スゴロク	分類	その他
		授業名	進路学習（総合） 分教室
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のモチベーション（やる気）に影響を与えることについて考える。</li> </ul>		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・スゴロク版を広げ、4~5人で1つのボードを使って行う。
- ・1プレイした後、ワークシートを配布し、「やる気」をあげることを考える。
- ・追加ハプニングとして、「やる気」をあげることを空いているマスに追加し、再度プレイする。

<材料>

- ・画用紙、付せん、ワークシート、6面サイコロ、駒

<工夫点>

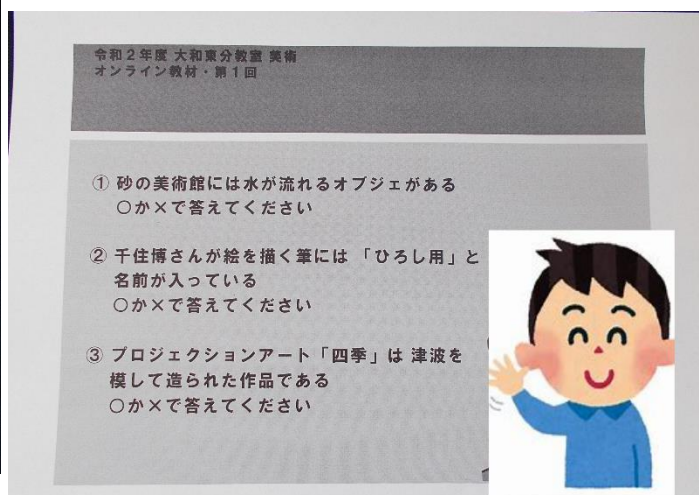
- ・実習で起こりそうなことを“ハプニング”とした。
- ・「やる気」の下がることを多めに“ハプニング”とし、ワークシートではやる気をあげることを中心に考えられるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・モチベーション維持手段に意識を向けることができた。
- ・ゴールの難易度が難しすぎず簡単すぎず、丁度よく、生徒の中にはなかなかゴールできなく（何度も面接を受ける）イライラする者もいたが、その感情体験も含めて振り返りを行えた。

教材教員名	美術 オンライン教材	分類	その他
		授業名	美術（分教室）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞を通して、立体表現や映像作品への審美眼を養う。</li> <li>映像で美術作品に触れる姿勢を涵養する。</li> </ul>		

教材教具の概要



<使用方法>

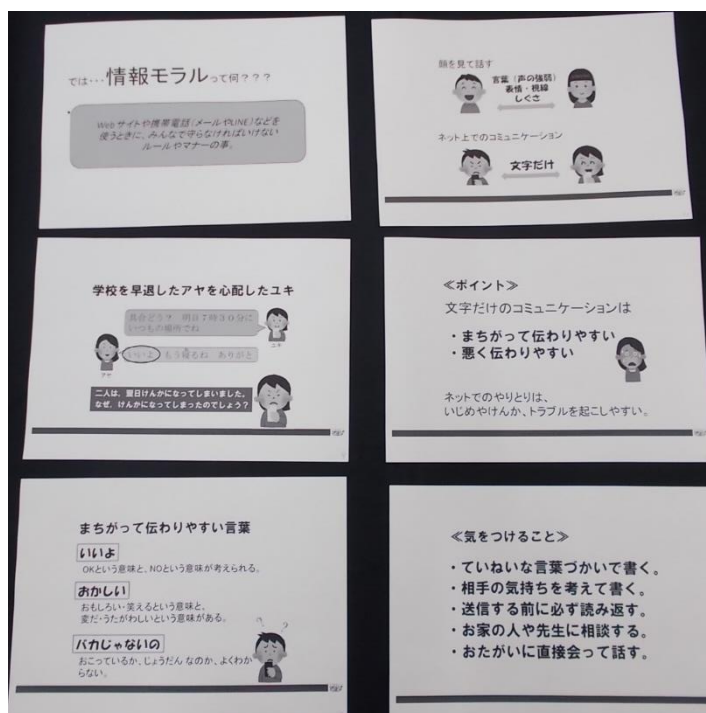
- PC またはタブレット、スマートフォンで実施。(オンライン環境で使用。)
- ① PP で資料を作る。
- ② 瀬谷養護学校が使用している「Google drive」に教材として資料を挙げる。
- ③ 各家庭に配布したアカウントでアクセスすると、生徒が教材を見ることができる。

<工夫点>

- 緊急事態宣言で休校期間中、美術的な情報に触れる機会が減ったため、映像を通じて鑑賞できるように作成した。
- クイズ形式にすることで、楽しみながら取り組めるよう工夫した。また、リンクを貼っておくことで、関連性のある美術館等へのアクセスをスムーズにし、より美術作品と親しめるよう工夫した。

教材教員名	情報モラルについて	分類	その他
		授業名	情報（分教室）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報モラルに関して、理解と関心を高める。</li> <li>情報モラル違反に危機感を持つ。</li> </ul>		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・パワーポイント、大型テレビに表示し、言葉での説明とともに、視覚で理解できるようにする。

<材料>

- ・授業用PC、大型テレビ

<工夫点>

- ・生徒の日常を事前に聞き取って、身の回りにあるであろう事例を中心にした内容となっている。日常の中でも、モラル違反をすると、場合によって罪に問われるようなことを混ぜ込み、注意喚起するような内容とした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・生徒からの反応や感想を集約してみたところ、「初めて聞く内容だった」「思い返すと過去にやってしまった事があって、すごく怖くなった。二度とやらない」等、興味と危険と認知してくれるような反応が返ってきた。

教材教具名	苗植え手順シート	分類	その他
		授業名	職業（分教室）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苗植えの手順を見て活動ができる。</li> <li>・ 手順を忘れても、見直すことができる。</li> </ul>		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・ 花壇の柵に手順シート貼り、教員が手順シート通りに手本を見せ、生徒が手順書の見本を見て苗植えを行う。

<材料>

- ・ 画用紙5枚

<工夫点>

- ・ 目の前にある柵に貼ることにより、作業をしながらでも見るようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・ 手順を覚えることに苦手さのある生徒や見通しが持てないと行動できない生徒が、安心して作業に取り組むことができた。一緒に行った技能員さんに上手に作業していたとほめてもらった。